



毎月十五日発行 社会 宗像 大像 定価 一年送料共 1000円

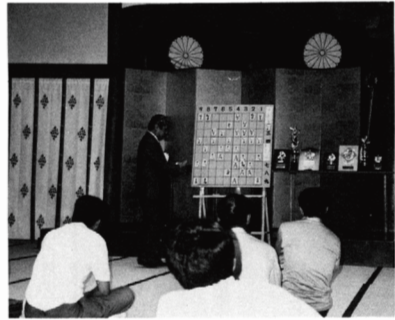
神具・装束 結納式場用品 福岡店 福岡市博多区東公園二丁目一三二番

第十四回 宗像王位戦

第十四代王位に津中輝彦五段(福岡県)



西日本アマチュア将棋界の最高峰、王位の座を競う第十四回宗像王位決定戦



主催：宗像大社・西日本の最高峰、王位の座を競う第十四回宗像王位決定戦

西日本アマチュア将棋界の最高峰、王位の座を競う第十四回宗像王位決定戦。主催：宗像大社・西日本の最高峰、王位の座を競う第十四回宗像王位決定戦。

- 福岡県勢同士の決勝戦は第七回大会(昭和五十九年)以来「一回目」になる。この決勝戦は...

- 大分県 安部 雅美 四段 沖繩県 福井 孝幸 四段 山口県 松本 誠 四段

本年は大東亜戦争開戦五十周年という記念的年である。開戦の序曲たる日米交渉は五十年前の恰度迄遡る。

私には断定できない。ただ、開戦通告がワシントン日本大使館員事務上の不手際から予定より一時間余り遅延した。

開戦五十周年に際しての所感。私には断定できない。ただ、開戦通告がワシントン日本大使館員事務上の不手際から予定より一時間余り遅延した。

では我々としてどうしたらよいのか。売り言葉に買い言葉といたる悪罵の投げ合いはもろもろの潔しなく、その部分の歴史を相互に虚心坦懐に認め合うことが是非必要である。

先般、本年の友である熊本県神楽池神社の神官から草ウコンがどさり送り届けた。

八幡川 川崎 ウラ 霧雨に濡れつゝ交互に白く輝る葉裏を返す山の雑木々々

その真珠湾の悲劇であるが、当時の合衆国大統領は日本海軍航空隊の奇襲を予知して先づ米側に先制攻撃の一撃を実行させ、これを以て米国民の敵愾心を煽り、国民の輿論を開戦に向けて統一せんと謀ったのだ。

説となつてしまつた事実は如何ともし難い。実際には、日本の航空隊は湾内の艦隊を先制攻撃し、市街地には一発の爆弾を投下せず、凡そ民間施設には一切手をなかつた。

しかし何の処分が行われることもなく、重大な過失を犯した外交官達はその後順調に昇進を遂行して行った。政府は自ら光明の道を閉じた様なものである。

海の大変に珍重され、長い時代をへた今日でも愛用者は多い。海の内倉院沖ノ島は、クコ・アザミ・ノビル・ニッケ等数々の薬草が群生しているが、奈良正倉院には天乎勝太郎、聖武帝崩御のあと光明太后が、遠くインド等より六十種の薬草をとりよせ、東大寺に委嘱した。

大島 目原 節子 ふと見れば隣家の蔭に盛りつたおひげのふげを掲げて帰る。千葉 花田ます子 風に散る桜の花を背にうけて今日を限りの職場去りゆく。

宗像大社歌会詠草

第三〇回 宗像大社歌会詠草

中村 吾郎 選 毎月末日 切 岸の灯が煌きて見ゆ 吉留 高山 信子 朝早く友と歩きて山道に桐の花あれば近きより観る

沖津宮現地大祭

沖津宮遙拝所にて齋行



当大社御祭神、田心姫神を主祭神とする沖津宮の例祭、沖津宮現地大祭は、海上大神念、為、止むなく遠島を断念、大、沖津宮遙拝所に於いて齋行された。

二百名の拍手の音が力強く響いた。齋行終了後、養父宮司より沖ノ島の概略説明や渡島の意義、続いて太田権宮司より明日の諸注意が、又各船担当神職から詳細に亘る説明がなされた。

中止決定後すぐに、太田権宮司より島内放送にてその旨が伝えられ、港に於いて遙拝所での齋行について等本日の予定の説明がなされた。

午後十時、沖津宮遙拝所泊施設に分かれ、静かに夜明けを待った。

翌朝十七日、雨・風共に強く、海上も時化の状態であったが、午前六時に最終決定をする為に海上保安庁灯台見廻船「げんぐん」が大島港を出港、しかし残念乍ら一時間後に帰港し、渡島中止の決定がなされた。

大島港に参集していた参拝団一同は「げんぐん」が帰港すると無念の表情だったが、港から見える海上模様を目の当たりとして口々に中止納得の言葉が聞こえてきた。

祭典終了後、中津宮・照海殿にて漁業関係者からの新鮮な海の幸に舌鼓を打ち、来年の渡島と、再会を誓い合い、大島を後にした。

沖ノ島御神水 給水施設を奉納

三宝建設機工(株)



当大社沖津宮が鎮座する沖ノ島は、内陸から六〇キロ隔てた玄界灘にある孤島で、高さ約二四三米のきつ立した山容は、タブの原生林で覆われている。この島の山麓に御神水の水源があり、清澄な清水が湧き出て漏れることがない。昭和四十年代、この井戸の上にポンプ小屋が、また山腹には給水タンクが設けられ、落差を利用して灯台事務所と社務所に給水を行ってきた。

最近この給水施設の老朽化が目立ち、設備を更新する必要性に迫られてきた。この事情を当社の崇敬家で、沖ノ島港湾工事を請負われている三寶建設機工(株)社長白井久仁生氏に相談

基礎の上に固定、室内にヤンマーの十馬力発動機と寺田製の高性能ポンプを据付け、この井戸の上、十メートルの山腹に三層樹脂製二重加工の真径二米余、四屯タンクを設置して、水源から御神水を先ずこのタンクに押し上げ、落差によって給水する従来の方式を踏襲した。以前のタンクは一度で薄く日が入るため、藻の発生がたがった。また、藻の発生が抑えられると思われ、ポンプ室が堅牢で、落水がなければ半永久的に使用が可能である。この度の給水施設の御奉納により、御神水の品質が維持され、社務所はもとより、これをお受けする参拝者の方々にも明報となった。

三寶建設機工(株)社長白井久仁生様を始め本工事に携わられた同社社員の方々に厚く御礼を申し上げます。

宗像大社氏子会の平成三年度第一回総代会総会が、去る五月十七日(金)午前十一時より、当大社清見殿に於て開催され、各々の議案が慎重に審議された。

総会には、宗像郡市より選出された、評議員並びに総代約百余名が参集、会議に先立つ午前九時三十分、出席者全員本殿に於て正式参拝を執り行い、会長の上野氏に代りて参拝し、定例総会を開催、会議は出光太蔵副会長の開会の辞に始まり、国歌斉唱、神宮並皇居遙拝、敬神生活の綱領唱和と続き、氏子会河野幸人会長、当大社養父宮司、来賓の小山達生重議会議員の挨拶の後、本日の議案の審議に入った。

先づ最初に、平成二年度の氏子会事業報告並びに決算報告が事務局より、監査報告が津屋崎町の寺嶋忠志氏より行われ、全員一致で承認された。

次に、昨年より実施されてきた氏子会修繕費、京都方面(神宮参拝並京都御所参拝)に決定、期間は七月十日より十四日迄、参加申込みは事務

世界の人々との交流が頻繁になり、当大社へもさまざまな国の人々が参拝するようになった。今日、それらの人々に日本文化の原点である神道を、又当大社の由緒をより理解していただくために、先般より作成中の英文由緒記がこの程完成、社頭でも参拝者に授与している。

当大社には、以前二色刷りの簡単な英文パンフレットがあったが、時代のニーズに合わせ、内容もより充実したものとの考えから、今回装訂も新たに作成した。この英文由緒記は、当大社の由緒記(略記)を英訳したもので、翻訳を元福岡教育大学教授三浦清一郎先生(現福岡学園常務理事)にお願いした。先生には神務局を窓口とする事で了承した。

また今上陛下御大典記念事業として行われ、大戦奉納収支決算報告が事務局より行われ、全員一致で承認された。

以上各議案を慎重に審議承認、最後に田島区吉武勝海評議員の音頭で万才三唱、新海伍郎副会長の閉会の辞を以て氏子会総代会は無事終了した。

宗像大社氏子会 総代会総会開催

英文由緒記を作成 国際化の波に対応

夏越祭・大祓神事案内

宗像大社 宗像大社

一誌一話(9) 「鏡」

樂松子

沖ノ島祭神では五十八面の鏡の奉獻をみる。なかでも十号からは三十一面と一番多い。これ程鏡が多く出している遺跡は、全国でも至って珍しい。

考古学の話題が文化面だけでなく、トップニュースに扱われている昨今、調査・研究も賑やかになった。なかでも鏡が出土すると、その地方の古代氏族の首長の事が論じられる。鏡は弥生時代の石槨、甕棺や古墳時代の石室・祭壇跡から多く出土している。

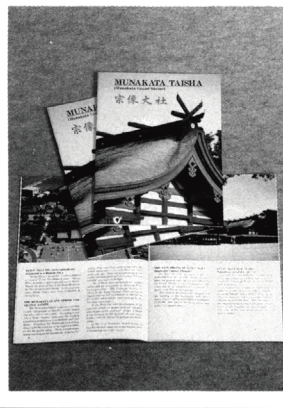
カガミとはいったいなにが「大辞林」には、(1)姿・形を写す道具。(2)鑑・書き、見習うべきもの。鏡となる人(総論)。等が主で、これらの総論として用いられる。一方、鏡は古来より霊的な宝物とみなされ、神社の神体とし、在る魔除けの具として、また神像に託して敷い除き、清々しい気持ちをもって明日の生活を安らかにするための祈りをこめたお祭りでありました。

本年も左記により齋行致しますので、皆様お誘い合せの上御参拝下さいませよう御案内申し上げます。

崇敬者各位 宗像大社

夏越祭・大祓神事案内

宗像大社 宗像大社



宗像大社 宗像大社

宗像大社 宗像大社

宗像大社 宗像大社

宗像大社 宗像大社

宗像大社 宗像大社

宗像大社 宗像大社

宗像大社歌会 俳句作品集(三九五)

藤沢 井上 玄洋
夏まで雲流れく甲斐盆
地

福岡 森 清
麦秋や畔の雀のにぎし
若松 井手 清隆

福岡中央 力丸 玄風
健やかに余生の牡丹花きは
津屋崎 西住喜一郎
巖山の海に崖なす高の恋

福岡 廣渡一壽軒
園園より見る故郷の養牛浦
名古屋 小田 留子
産卵に数ふやしや鯉をさる

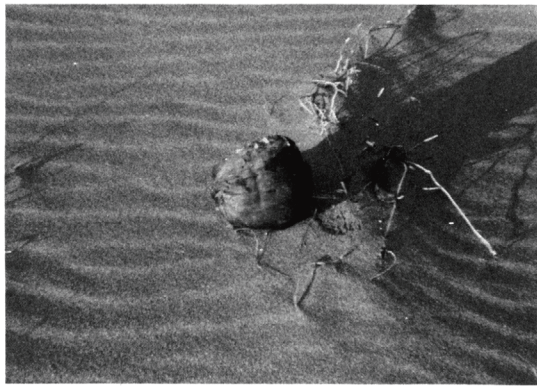
名古屋 小田 喜一
風薫る天をめぐらす高の笛
田熊 力丸 一郎
自画像は未完のままの四月
尽

滋賀 岩瀬 辰夫
青梅や天神の森月語
田熊 安部 ゆき
花は葉に大地踏みしめ杖の
婆

日の里 花田いつて
後手を組みて沖る機炎火
津屋崎 井浦 良介
万緑に抱かれ眠るイカ釣り
船



(続) 大方町・砂浜美術館(一) いししいただし



平成三年二月上旬、私は
高知・大方町を訪ねた。大
方町では、太平洋に面して
四キロにわたって砂浜が
あり、それを美術館に見立
て、数々の催しを実施して
いる。浜に流れ着く漂着物
も、砂浜美術館の展示作品
である。

大方町は、高知県の西端
足摺神に近い位置にある。
JRでは終点の高知中村の
手前、入野駅下車すれば
よい。入野駅といえは、作
家の上林曉が出たところ
である。私も高校時代、氏の
随筆を読んだことがある。
町は人口二万ほど。東
西十八キロメートル、南北
十二キロメートル、総面積
三二二平方キロメートル。
北東に井ノ岬が突き出し、



ここから西南へぐるっと
弓状の浜があり、入野松原
と砂浜が約四キロメートル
にわたって続く。沖に黒潮
本流(日本海)が流れて、
北流(瀬戸内)と合流して、
年間平均気温は二、三度と暖
かく、雨量も多い。農業が
さかんで、近年はキウリ、
砂地を利用したラッコウ、
花キ栽培もさかんである。
湾内にはナトリウムが棲
み、砂浜と岬の町として
知られている。

歴史的には、承知八年
(八四)の大方郷がある
し、聖武天皇の神皇元年
(七四)には流刑地に定
められている。保元平治の
乱で藤原師長が、承久の変で土
御門上皇が流されたこと
ろとして知られる。ここ
は中央から遠く離れた流刑
地で、漂流物にあふれて
きて四キロにわたる砂浜
を地元の若い人達は見逃さ
なかった。「私達のまちに
は美術館がありません。美
しい砂浜を美術館です」と、
その砂浜を美術館に見立て
て、

「その考えかたには「感性
磨き発想の転換を図る」と
てふさわしいものです。
「サカキ」とは、神の宿る
木、栄える木という意で、
本来は常緑樹を指す言葉
です。地方によって、松、
杉、榿、などを
用いることがあります。

なお、神立では、神棚の
左右に一対置きます。
瓶子、平盆・水器・三方
は、神饌を入れてお供えす
る器具です。
瓶子は、「へいじ」又は
「へいし」とよみ、御神酒
を入れる器です。必ず左右
一対用意します。
平盆は、「ひらか」とよ
み、米や塩などを盛るため
の皿です。
水器は、御水を入れるもの
で、「すいき」とよみます。
古くは、「埴」又は
「瓶」ともよみました。
三方は、神饌を載せる為
の台で、三方に穴があいて
いる所からその名ができた
ものです。三方の歴史は、
後醍醐天皇が吉野に天皇へ
をつられたとき、天行所
の献上物の器として作られ
たのが始まりとされています。
古くは食事を台に用
いたとか、宮中では納言以
上の人が用い、穴のない
は三位以下の人が用いたな
どの記述があります。明治
になり、復古神道の波に
よって、このころから神饌を盛
る器となったといわれていま
す。

三方には小さきさまの
種類がありますが、神棚で
用いる場合、普通は一台か
三台を使用します。又大き
な神棚の場合、特別な
多くの神饌をお供えする場
合は五台にするこもあり
ます。さらに、小さな神棚
には、胴のついていない折
敷を使っても差つかえあ
りませんでした。
大方町の公民館に集めら
れた砂浜美術館の所蔵の作
品を見てもらった。ココ
ヤシ三台、ニッパヤシ
が三台、あとは中国、韓国
のプラスチック製、特に
中国製が多目につく。
他に洗面類・鏡背があた
た。黒潮本流の漂着物である
一つ一つを見て回った。見
終わった時には帰る落ちた
ので、その夜、砂浜美術館
の学芸員達と、焼鳥や鍋物
をつつきながら、楽しく作
品について語り合った。宿
に着いたのは十一時近くで
あった。明日、早朝海岸を
歩いてみよう。

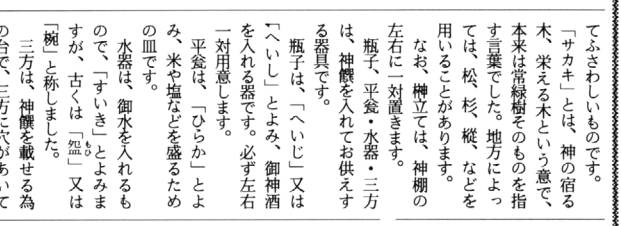
追記「私ごとで恐縮です
が「海の寄り物展」を六月
六日より七月三日までで
東京・銀座二丁目銀座ポ
ケットパーク(東京ガス)
で行います。また八月九日
より十六日まで名古屋・名
鉄二丁目で「漂着物展」を
予定しています。
◇
写真は大方町・入野の浜
に漂着していたココヤシ
りませんし、そのまま米
入れた皿やお供えして
もかまいません。
三方や折敷を使う場合は
緑の紐を手前に向けて置
きます。
最後に御神灯は、左右に
一対あって常に神前を明る
くするために使われます。神社では
灯籠やかがり火があると
同様に神棚の前にもとま
ます。種類や大きさはさま
ざますが、最近では、電
式のものも多く見られます。
このように家庭用祭具
にはいろいろあります。
しかし、神棚は神祇の御座所
であり、祭具を並べられ
ただけでは意味がありません。
日々のお祭りを怠らず、常
に神棚を清浄に保つことが
重要なことです。

神郡宗像(三)

田中 政喜

まつりと生活(三十八) 祭器具について

神棚はお札を納める所で
すが、その付属品として、
祭具があります。注連縄
紙垂、樹立て、瓶子、水器
平盆、神灯、三方などを
つけ、上下互い違いに三分
の二まで切り込みます。折
目のある片を順に手前に折
り返していけばできあがり
です。



次に樹立ては、神を立て
神さまにおあげするための
ものです。
神は、常に青々として清々
しいものであることがたい
せつです。鎮守の森という
言葉があるように、豊かな
緑は水々しい生命感にあふ
れて、神霊の宿る場所とし
て、

「サカキ」とは、神の宿る
木、栄える木という意で、
本来は常緑樹を指す言葉
です。地方によって、松、
杉、榿、などを
用いることがあります。

なお、神立では、神棚の
左右に一対置きます。
瓶子、平盆・水器・三方
は、神饌を入れてお供えす
る器具です。
瓶子は、「へいじ」又は
「へいし」とよみ、御神酒
を入れる器です。必ず左右
一対用意します。
平盆は、「ひらか」とよ
み、米や塩などを盛るため
の皿です。
水器は、御水を入れるもの
で、「すいき」とよみます。
古くは、「埴」又は
「瓶」ともよみました。
三方は、神饌を載せる為
の台で、三方に穴があいて
いる所からその名ができた
ものです。三方の歴史は、
後醍醐天皇が吉野に天皇へ
をつられたとき、天行所
の献上物の器として作られ
たのが始まりとされています。
古くは食事を台に用
いたとか、宮中では納言以
上の人が用い、穴のない
は三位以下の人が用いたな
どの記述があります。明治
になり、復古神道の波に
よって、このころから神饌を盛
る器となったといわれていま
す。

三方には小さきさまの
種類がありますが、神棚で
用いる場合、普通は一台か
三台を使用します。又大き
な神棚の場合、特別な
多くの神饌をお供えする場
合は五台にするこもあり
ます。さらに、小さな神棚
には、胴のついていない折
敷を使っても差つかえあ
りませんでした。
大方町の公民館に集めら
れた砂浜美術館の所蔵の作
品を見てもらった。ココ
ヤシ三台、ニッパヤシ
が三台、あとは中国、韓国
のプラスチック製、特に
中国製が多目につく。
他に洗面類・鏡背があた
た。黒潮本流の漂着物である
一つ一つを見て回った。見
終わった時には帰る落ちた
ので、その夜、砂浜美術館
の学芸員達と、焼鳥や鍋物
をつつきながら、楽しく作
品について語り合った。宿
に着いたのは十一時近くで
あった。明日、早朝海岸を
歩いてみよう。

追記「私ごとで恐縮です
が「海の寄り物展」を六月
六日より七月三日までで
東京・銀座二丁目銀座ポ
ケットパーク(東京ガス)
で行います。また八月九日
より十六日まで名古屋・名
鉄二丁目で「漂着物展」を
予定しています。
◇
写真は大方町・入野の浜
に漂着していたココヤシ
りませんし、そのまま米
入れた皿やお供えして
もかまいません。
三方や折敷を使う場合は
緑の紐を手前に向けて置
きます。
最後に御神灯は、左右に
一対あって常に神前を明る
くするために使われます。神社では
灯籠やかがり火があると
同様に神棚の前にもとま
ます。種類や大きさはさま
ざますが、最近では、電
式のものも多く見られます。
このように家庭用祭具
にはいろいろあります。
しかし、神棚は神祇の御座所
であり、祭具を並べられ
ただけでは意味がありません。
日々のお祭りを怠らず、常
に神棚を清浄に保つことが
重要なことです。



石製家根石及び白石付
碑石に阿弥陀如来像
が刻まれている。前面
と側面に和名と漢文の
後刻りが刻まれている。
従来後鳥羽天皇建立
九年(一九)末国育
王山から平重盛追捕の
ため寄贈されたとい
われている。